

《 費用助成を受けることができる人 》

- ① 仙北市に住所(住民登録)がある人
- ② 妊娠を予定している女性または妊娠を希望している女性
- ③ 現在、妊娠中の人の夫

《 費用助成の対象外の人 》

- ① 風しんにかかったことがある人
- ② 2回以上の予防接種をしたことがある人または当接種で助成を受けたことのある人
- ③ 妊娠している人および妊娠の可能性のある人

《 接種を受ける時の注意 》

- ① 風しんワクチン接種の必要性や副反応について不明な点がある場合は、事前にお医者さんに相談しましょう
- ② 当日は体調をよく観察して、ふだんと変わったところのないことを確認してください
- ③ 予診票は接種して下さるお医者さんへの大切な情報です。正確に記入しましょう
- ④ 妊娠している人のご家族(夫)の方は、母子健康手帳の写しを受付に提出してください

《 接種を受けることができない人 》

- ① 明らかに発熱のある人
- ② 重篤な疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 過去に、風しん単抗原、混合ワクチンの接種を受けてアナフィラキシーを起こしたことがある人
(他の薬品の接種でアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前にその旨をお医者さんに伝えてください)
- ④ 妊娠している人(ワクチン接種後は少なくとも2カ月間の避妊が必要です)
- ⑤ その他、お医者さんが予防接種をうけることが不相当と判断した人

《 医師とよく相談しなければならない人 》

- ① 心臓血管系疾患、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人および気管支ぜんそくのある人
- ② 未熟児で生まれるなどで発育の悪い人
- ③ カゼなどの引きはじめと思われる人
- ④ 前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーを思わす異常が見られた人
- ⑤ 薬の投与又は食事で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ⑥ 今までけいれんを起こしたことがある人
- ⑦ 過去に本人や近親者で先天性免疫不全と診断されたことがある人
- ⑧ 家族や友人など周囲に、麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、水疱瘡などの病気が流行していて、まだ、その病気にかかったことのない人
- ⑨ 妊娠の可能性のある人(ワクチン接種後は少なくとも2か月間の避妊が必要です)

《 予防接種を受けた後の注意 》

- ① ワクチン接種後30分間は、病院にいるなどして様子を観察し、お医者さんにすぐに連絡をとれるようにしておきましょう
- ② ワクチン接種後24時間は、副反応の出現に注意しましょう
- ③ 接種当日の入浴は差支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう
- ④ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、激しい運動はさけましょう
- ⑤ 万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかにお医者さんの診察を受けてください
- ⑥ 接種後、2か月間は妊娠しないように注意してください
- ⑦ この説明書兼接種済証は、大切に保管してください